

平成30年度
刈谷市行政評価委員会
外部評価実施結果報告書

刈谷市行政評価委員会

報 告

刈谷市長 竹中 良則 様

第7次刈谷市総合計画に位置付く教育に関する施策の内容から「教育内容の充実」を、刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付く取組から「魅力ある店舗づくり・消費喚起」を選定し、外部評価を実施した結果を報告します。

平成30年11月28日

刈谷市行政評価委員会

委 員 長	昇 秀 樹
委員長職務代理	吉 本 理 沙
委 員	佐 野 真 紀
委 員	奥 村 勇 雄
委 員	面 高 俊 文
委 員	山 田 達 也
委 員	野 村 裕 子
委 員	森 雅 博

報 告 書 目 次

1	刈谷市行政評価委員会	1
	(1) 構成	
	(2) 役割	
2	外部評価の実施	2
	(1) 評価項目の選定	
	(2) 評価項目	
	(3) 実施方法	
	(4) 活動の経過	
3	外部評価の結果	5
	(1) 行政評価委員会委員の意見に対する市の考え方	
	ア 第1部「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」 施策の内容 「教育内容の充実」 … 5	
	イ 第2部「まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組を効果検証」 取組「魅力ある店舗づくり・消費喚起」 …… 1 1	
	(2) 委員長による全体総括	1 5

1 刈谷市行政評価委員会

(1) 構成

刈谷市行政評価委員会は、以下の8名の委員で構成します。

団体名・役職等	氏名
名城大学 教授【委員長】	昇 秀 樹
愛知大学 准教授【委員長職務代理者】	吉 本 理 沙
愛知教育大学 准教授	佐 野 真 紀
元会計検査院審議官	奥 村 勇 雄
認定特定非営利活動法人アジア車いす交流センター（WAFCA） アドバイザー	面 高 俊 文
株式会社豊田自動織機 総務部長	山 田 達 也
株式会社三立 取締役	野 村 裕 子
株式会社キャッチネットワーク 特別顧問	森 雅 博

(2) 役割

市が実施する行政評価に対する外部評価を実施し、その結果を市に報告するとともに、必要に応じて事務事業等の改善に資する提言を行うことです。

2 外部評価の実施

(1) 評価項目の選定

平成30年度は、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組を効果検証」の二つのテーマを設け、それぞれから外部評価としてふさわしいものを選定しました。

(2) 評価項目

ア 第1部…教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

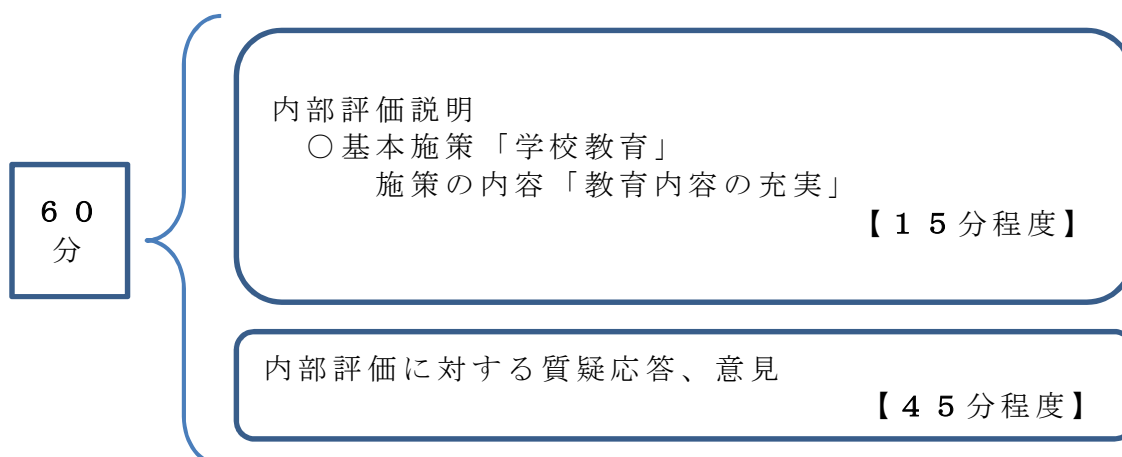
評価対象	担当課	関係課
(基本施策) 学校教育 (施策の内容) 教育内容の充実	学校教育課	教育総務課

イ 第2部…まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組を効果検証

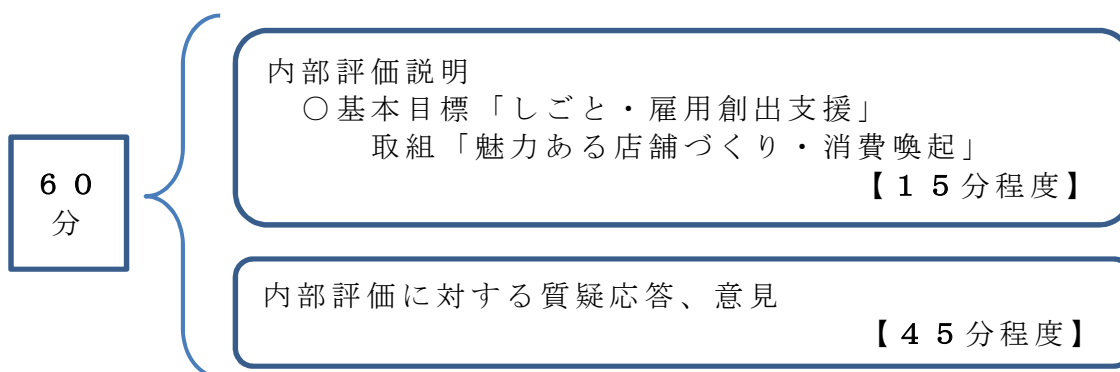
評価対象	担当課	関係課
(基本目標) しごと・雇用創出支援 (方向性) 生活拠点におけるにぎわいのある商業環境を整える (取組) 魅力ある店舗づくり・消費喚起	商工業振興課	まちづくり推進課

(3) 実施方法

ア 第1部の流れ



イ 第2部の流れ



ウ 外部評価の視点、委員に求める意見・提案

外部評価の視点

「現状の分析と課題」の考え方

- 成果が総合戦略の取組や総合計画の施策の内容の推進に貢献しているか
- 事務事業の評価結果は妥当か

《ポイント》

- ・指標の的確性、指標分析の考え方
- ・分析結果から抽出した課題の妥当性

「今後の方向性」の考え方

- 評価結果、課題への対策となっているか
- 総合計画の施策の内容や総合戦略の取組の推進に効果的か

意見・提案

- 上記の視点での考え方や妥当性等に関する意見
- 内部評価の視点とは別の角度から、分析方法や課題抽出方法を提案
- 総合計画の施策の内容や総合戦略の取組の推進に効果的で、指標や満足度の向上に資する事務事業・施策の提案
 - ⇒既存事業の改善提案
 - ⇒新規事業・施策の提案

(4) 活動の経過

	開催日・時間	場所	会議内容・決定事項
第1回	平成30年 5月30日(水) 14時00分～ 15時00分	市役所4階 402会議室	<p>●行政評価の進め方について 外部評価のテーマは、第1部として「まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組等」、第2部として「教育に関する施策の内容」に決定。</p> <p>●外部評価対象事業選定について 第1部の評価対象は、基本目標「しごと・雇用創出支援」に位置付けられている取組、第2部の評価対象は、総合計画に位置付けられている教育委員会所管の施策のうち、各委員の選定により決定。</p>
第2回	平成30年 7月27日 (金) 13時30分～ 16時15分	市役所7階 大会議室A	<p>●外部評価の実施 総合計画に位置付く教育に関する施策の内容のうち「教育内容の充実」を、総合戦略に位置付く取組のうち「魅力ある店舗づくり・消費喚起」を対象に外部評価を実施。</p>

3 外部評価の結果

(1) 行政評価委員会委員の意見に対する市の考え方

ア 第1部「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」

施策の内容 「教育内容の充実」

【意見】

施策としての「学校教育」の目指す姿の一つ「学校が楽しいと思う子どもの割合」は主観的な指標であるが、主観的指標のみではなく客観的な指標で補完することで、実態に近づいた評価が可能となるため、主観的指標と客観的指標をセットで設けることを心掛けてほしい。

【市の考え方】

小施策レベルの「教育内容の充実」の評価でも、「学校生活に満足しているか」「将来の夢や目標があるか」といった主観的な目標指標を設定していたため、次の計画策定時には客観的指標の設定を検討してまいります。

【意見】

教員の授業力の向上について、子どもたちの自己肯定感、自己有用感の育成に繋がる授業の進め方の工夫や、研修を踏まえた特徴的な取組を実践してほしい。

【市の考え方】

例えば、授業での子どもの発言に教員が価値付けをする、また別の友達が繋げて発言できたら、人の意見を聞いて自分の考えを発言できたことに価値付けをするといったように、授業への参加姿勢を価値付けすることが、子どもたちの学びに向かう支えになると考えていますので、子どもたちの考えや意見で授業を進める意識を持って取り組んでまいります。

【意見】

道徳教育についての目標指標「多様な指導方法を工夫している教員の割合」

が、目標値50%に対して29年度実績が14.3%と大きく乖離しているが、ジョブ理論の考え方で言えば、教育現場の教員を手厚くケアしていくべきであり、教員が困っていること、つまづいていること等を教育委員会が把握して、分析することが大事である。

校長先生を始めとした教員の方々が、児童生徒に教えることで教員自身が楽しいと思えるかが大切で、その姿勢は児童生徒に伝わるものと考えている。思いを持った教員がより良い教育ができるよう、行政、教育委員会が現場の悩みを聞きながら、教育内容の充実について検討していただきたい。

【市の考え方】

道徳教育の教科化によって、指導方法の多様化や工夫についてクローズアップされており、教育委員会としても多様な指導法を研修の場で示しております。また学校訪問での道徳授業の見学では、授業内容を教員と一緒に振り返ることで、教員の考えを引き出しつつ、前向きにさせるアプローチを意識して取り組んでいきます。

刈谷市施策評価シート(①基本施策推進状況)

基本施策	21 学校教育		施策責任者		
			教育部長		
			とりまとめ課		
			学校教育課		
	施策の内容(小施策)	担当課	関係課		
211	教育内容の充実	学教	教総		
212	安全・安心で地域に開かれた学校づくり	学教	教総		
213	学校施設・設備の整備・充実	教総			
214	児童生徒へのきめ細かな対応	学教	教総		
215	学校給食の充実	教総	学教		
目標指標達成状況					
めざす姿(生活像)が下記のどの目標指標と関連しているか表示しています					
めざす姿(生活像)					
		(1)	(2)	(3)	(4)
まちの状態	個に応じたきめ細かな指導が行われています。	○		○	
	地域の人材を活用して幅広く教育活動が行われています。		●	○	
市民の暮らし	児童生徒が楽しく学習し、確かな学力や豊かな心、健康な体を身につけています。	○	●	○	
	児童生徒が安全で栄養豊かな学校給食を食べ、健やかに成長しています。			○	●

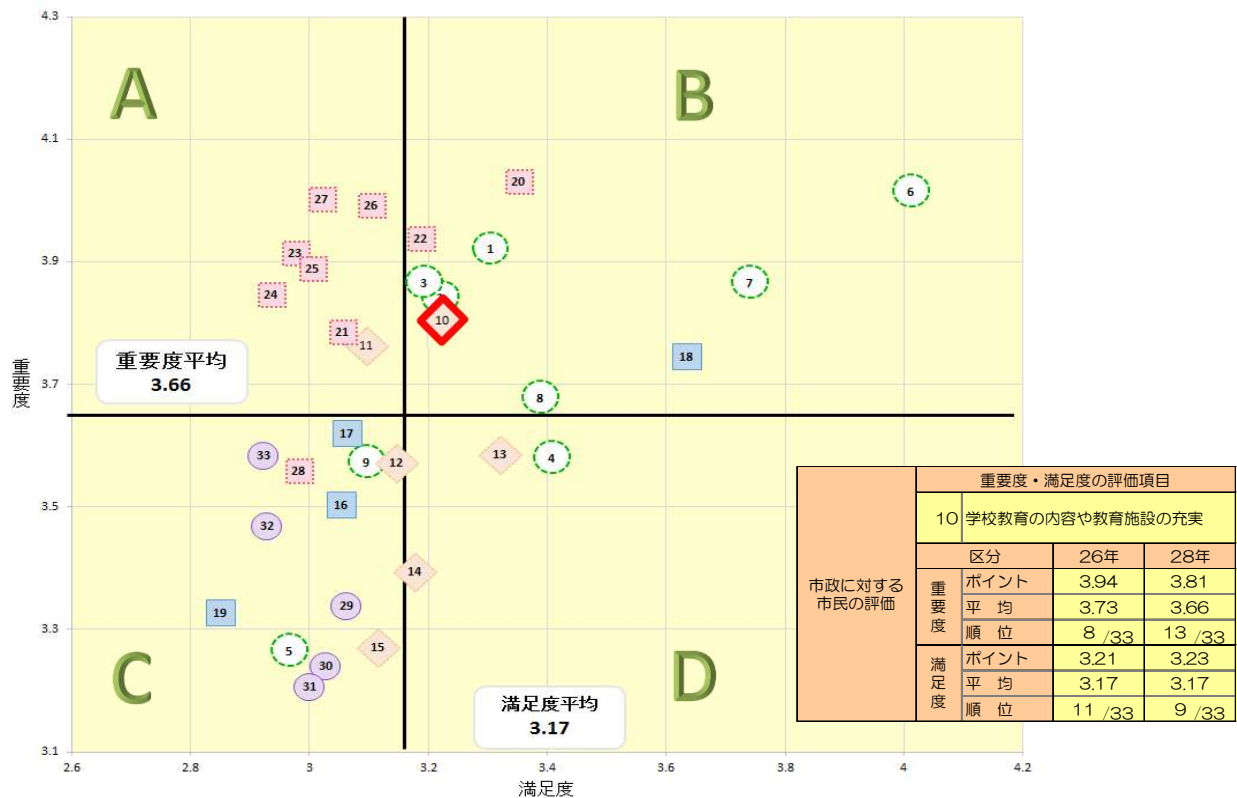
【注】◎…最終目標達成、○…未達成だが上昇傾向、●…未達成で下降傾向

●目標指標

達成状況	名称	単位	実績値			目標値
			27年	28年	29年	32年
(1) ○	小学校における少人数授業非常勤講師数	人	29	35	36	50
	関連する施策の内容(小施策)					
(2) ●	中学校部活動外部指導者数	人	25	20	22	30
	関連する施策の内容(小施策)					
(3) ○	学校が楽しいと思う子どもの割合	%	88.8 (26年)	89.0	-	93.0
	関連する施策の内容(小施策)					
(4) ●	給食が好きな子どもの割合	%	90.6 (26年)	87.3	-	93.0
	関連する施策の内容(小施策)					

【注】◎…最終目標達成、○…未達成だが上昇傾向、●…未達成で下降傾向

●市政に対する市民の評価



施策の内容(小施策)	211 教育内容の充実	担当課	学校教育課
		関係課	教育総務課

●目標指標

	現状分析	名称	単位	実績値			目標値	
				27年	28年	29年	32年	
(1)	○	成果	学校生活に満足している児童の割合(小学6年生)	%	85.0	83.9	83.5	87.0
(2)	△	成果	学校生活に満足している生徒の割合(中学3年生)	%	82.4	78.0	79.0	84.0
(3)	○	成果	将来の夢や目標のある児童の割合(小学6年生)	%	84.2	82.4	83.6	86.0
(4)	◎	成果	将来の夢や目標のある生徒の割合(中学3年生)	%	63.9	63.7	64.6	66.0

【注】 ◎…上昇傾向、○…横ばい、△…下降傾向

●他市町村との比較検証

比較項目	創意ある学校づくり事業(平成30年度予算)					単位	千円
刈谷市	碧南市	安城市	知立市	高浜市	—	—	—
12,900	1,730	—	5,000	760	—	—	—
備考							

比較項目	現職教育推進事業における教育研究会への補助費・委託料等(平成30年度予算)					単位	千円
刈谷市	碧南市	安城市	知立市	高浜市	—	—	—
1,950	235	1,412	180	184	—	—	—
備考							

実績



成果・現状分析と課題

成果・現状分析

◆小中学校英語指導補助事業
 ◆外部専門機関と連携した英語指導力向上事業
 子どもたちが授業以外でも、進んで英語を使って会話を楽しむ姿も見られるようになってきた。外国の方と会話ができた経験は、子どもたちの自信につながっている。

◆現職教育推進事業
 子どもたちが共に学び合い、理解を深めていく授業づくりに取り組み、児童生徒の学習面における基礎基本の定着を図った。

◆創意ある学校づくり事業
 地域の人材を生かした教育や本物体験、伝統文化などを生かした学習を通して、心豊かな児童生徒の育成を図った。

◆東吉野村文化交流事業
 ◆補助教材整備事業
 体験事業や補助教材を有効に活用することで、指導の効果を高め、知識の定着や学力の向上を図ることができた。

◆道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業
 気持ちの読み取りが中心となる従来型の授業が多かったが、主体的・対話的な道徳授業への意識が、少しずつ高められた。

課題の整理

子どもたちが力を伸ばせるように環境を整えることができた。

● 教員の指導力向上

● 学習の機会の確保

● 教材の提供

整えられた環境の中で、さらに子どもの力を伸ばすために、子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援・指導の充実を図る必要がある。

今後の方向性

教員の指導力向上

子どもがどんな力を持っていて、どんなところが伸びようとしているのかを子どもを見つめ直す。

学習の機会の確保

子どもが主体的に関われるように、より適切なプロセスを見直す。

教材の提供

子どもたちが夢を持ち、可能性を広げていくことのできる教材を見つめ直す。

教育内容
の充実

構成する主な事務事業

211		教育内容の充実				事務事業評価 (29年度決算)					予算 対 考 え 方	担当課
事業 No	事務事業名	事業費 (単位: 千円)			必 要 性	効 率 性	妥 当 性	貢 献 度	今 後 の 方 向 性			
		28年度	29年度	30年度								
1	小中学校英語指導補助事業	予算	43,805	43,805	54,757	高 い	普 通	高 い	高 い	拡 充	I	学 校 教 育 課
		決算	43,805	43,805	—							
2	外部専門機関と連携した英語指導力向上事業	予算	—	650	—	高 い	普 通	高 い	高 い	完 了	—	学 校 教 育 課
		決算	—	628	—							
3	現職教育推進事業	予算	6,780	6,920	6,990	高 い	普 通	高 い	高 い	現 状 維 持	III	学 校 教 育 課
		決算	6,471	6,448	—							
4	創意ある学校づくり事業	予算	12,900	12,900	13,600	高 い	高 い	普 通	普 通	拡 充	I	学 校 教 育 課
		決算	12,900	12,900	—							
5	東吉野村文化交流事業	予算	2,100	2,600	3,351	高 い	普 通	普 通	高 い	現 状 維 持	III	学 校 教 育 課
		決算	1,668	2,333	—							
6	補助教材整備事業	予算	11,063	10,764	11,531	高 い	普 通	高 い	高 い	拡 充	I	学 校 教 育 課
		決算	10,385	10,184	—							
7	道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業	予算	—	160	200	高 い	普 通	普 通	高 い	拡 充	I	学 校 教 育 課
		決算	—	118	—							
備考												

凡例		予算対応の考え方			
		無	縮小	維持	拡充
方 今 後 性 の	拡充		V	II	I
	現状維持		VI	III	
	改善・効率化		VII	IV	
	縮小		VIII		
	終期設定		IX		
	休止・廃止	X			

イ 第2部「まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組を効果検証」

取組「魅力ある店舗づくり・消費喚起」

【意見】

G A F A（グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾン）のようにベンチャー企業から世界のトップ10に入る企業がシリコンバレーから誕生している。ガソリン車から電気自動車が主流になったとき、自動車産業のまちである刈谷市が生き残れるのか考えておくべきである。現在の福祉的視点の中小企業支援だけではなく、シリコンバレーのように新しいことへのチャレンジを応援する風土をつくり、誰も意欲的に生きがいを持って働き、新しいニーズを発掘するような中小企業支援を目指してほしい。大野町長が豊田自動織機を誘致したように、政治、行政の頑張りがあって今の刈谷市がある。今度はその第2期として、21世紀型の新しいベンチャービジネスを刈谷市で誕生させるような中小企業支援を是非検討してほしい。

【市の考え方】

市独自の創業支援として、家賃補助や、商標、登記などの手続きに関する補助事業があります。また企業OB3名を市で雇い、中小企業コンシェルジュとして企業訪問を行い、電気自動車や自動運転等に関する情報交換ができる体制を整えています。

新規産業については、積極的に誘致できるよう努力してまいります。

【意見】

ビジネスの基本は、世の中から必要とされることをやっていくことであり、その結果として利益が上がるものと考えている。自分たちがみんなの幸せを考えてどうすべきか一人一人考えられる風土を作ることが大切であり、商店街の街路灯も刈谷市全体として統一的なデザインにする等、刈谷市全体でこういう風でありたいと発想できるような風土を作り込んでほしい。

【市の考え方】

街路灯はその商店街のエリアを示す役割もあり、それぞれで工夫を凝らしたデザインとなっていることから、統一的なデザインになっていないのが現状です。街路灯のデザインの統一については、街路灯の在り方も含めて、商店街と意見交換をしてみたいです。

【意見】

商店街組合や団体に加盟することでのメリットがないと、加盟することが魅力に感じてもらえず、加盟商業者が減ってしまう。その結果、組織運営も衰退し、活力がなくなるという悪循環のサイクルに陥ってしまうと思われる。

【市の考え方】

活動が活発な刈谷駅前商店街は加盟商業者も増えており、カリアンナイトは商店街に加盟していないと店舗として参加できないほか、市内のビジネスホテルでの飲食店紹介は商店街に加盟している団体だけとしている等、商店街で工夫しています。今後も商店街の事業を研究しながら、先進的取組などの取り入れを検討してみたいです。

基本目標	2 しごと・雇用創出支援 ～だれもが意欲的に生きがいを持って働けるまちをつくる～
------	---

●基本目標に対する重要業績評価指標(KPI)

現状分析	名称	単位	実績値			目標値
			27年	28年	29年	31年
◎	成果 市内の商店街でよく買い物をしている市民の割合	%	47.4 (H26)	51.0	-	53.0 (H32)

【注】 ◎…上昇傾向、○…横ばい、△…下降傾向

方向性	2 生活拠点におけるにぎわいのある商業環境を整える	担当課	商工業振興課
取組	◎ 魅力ある店舗づくり・消費喚起	関係課	まちづくり推進課

●取組に対する重要業績評価指標(KPI)

現状分析	名称	単位	実績値			目標値
			27年	28年	29年	31年
(1) ○	活動 商業団体事業費補助事業 交付団体数	団体	11	10	8	10 (H32)
(2) ○	活動 商業フェア開催事業 参加商業者数	店	-	-	129	150 (H32)
(3) △	成果 商店街のイベントなどに参加したことのある市民の割合	%	38.4 (H26)	35.1	-	45.0 (H32)

【注】 ◎…上昇傾向、○…横ばい、△…下降傾向

●他市町村との比較検証

比較項目	商業団体への事業費補助事業（平成30年度予算）						単位	千円
刈谷市	豊田市	安城市	西尾市	碧南市	知立市	高浜市		
19,318	21,550	16,870	1,522	600	0	0		
備考								

比較項目	げんき商店街推進事業の利用団体（平成29年度実績）						単位	団体
刈谷市	豊田市	安城市	西尾市	碧南市	知立市	高浜市		
4	4	3	2	0	0	1		
備考								

実績

取組	主な事務事業等の実施	実績
<p>商店街のにぎわいづくりのための、地域の特色を生かしたイベント開催などの支援</p> <p>商店街に空き店舗のリノベーションやチャレンジショップの展開の支援</p>	<p>商業団体事業費補助事業</p>	<p>利用団体 8団体 補助金額 13,672,176円</p>
<p>事業者の経営強化に向けた取組、新たな設備投資や事業展開を促進するための取組の支援</p>	<p>小規模企業者設備投資促進補助事業</p>	<p>申請件数 12件 補助金額 7,448,000円</p>
<p>担い手・後継者の育成の支援</p>	<p>中小企業新開発マネジメント事業</p>	<p>相談・指導 143件 講演会事業 13回 委託金額 7,827,227円</p>
<p>商工会議所や商店街と連携した市内消費の喚起</p>	<p>商業フェア開催事業</p>	<p>秋の大感謝祭 レシートラリー 参加店舗 104店舗 委託金額 4,155,132円</p>
<p>魅力ある店舗づくりへの支援</p>		<p>刈谷ベストセレクション 事業 参加店舗 25店舗 委託金額 2,500,000円</p>

成果・現状分析と課題

成果・現状分析

市内全域の小売事業者・サービス事業者の活性化のためのイベントを開催し、やる気のある事業者の育成を図っている。

中小企業コンシェルジュ等による企業訪問によって、商業・サービス事業者のニーズに即した、様々な支援を商工会議所と商店街と連携して行い、活性化を図っている。

課題の整理

商店街は、郊外の大型商業施設やインターネット販売などによる購買機会の多様化、少子高齢化などの構造的な要因により、厳しい環境が続くことが懸念される。

中小企業の経営者の高齢化が進んでおり、円滑な事業承継が必要とされる。

今後の方向性

商業の活性化を効果的に行う。

- ◆刈谷市中小企業振興基本条例に基づき、商業の振興施策を実施する。
- ◆刈谷市中小企業振興会議において、施策の評価及び事業者のニーズに即した施策の実施する。
- ◆商工会議所及び商店街と連携し、市内消費の喚起及び魅力ある店舗づくりを支援する。

魅力ある店舗づくり
・消費喚起

構成する主な事務事業

取組①		魅力ある店舗づくり・消費喚起				事務事業評価(28年度決算)					予算 対応の 考え方	担当課
事業 No	事務事業名	事業費(単位:千円)			必要 性	効 率 性	妥 当 性	貢 献 度	今 後 の 方 向 性			
		28年度	29年度	30年度								
1	商業団体事業費補助事業	予算	22,890	19,369	19,318	高 い	普 通	普 通	高 い	現 状 維 持	Ⅲ	商工業振興課
		決算	10,764	13,672	—							
2	小規模企業者設備投資促進補助事業	予算	40,000	20,000	20,000	高 い	普 通	高 い	高 い	現 状 維 持	Ⅲ	商工業振興課
		決算	40,483	7,448	—							
3	中小企業新開発マネジメント事業	予算	8,710	8,710	8,710	高 い	高 い	普 通	高 い	現 状 維 持	Ⅲ	商工業振興課
		決算	8,710	7,827	—							
4	商業フェア開催事業	予算	—	7,000	7,000	高 い	普 通	普 通	高 い	改 善 ・ 効 率 化	Ⅳ	商工業振興課
		決算	—	6,655	—							
備考												

凡例		予算対応の考え方			
		無	縮小	維持	拡充
方 今 後 性 の	拡充		V	II	I
	現状維持		VI	III	
	改善・効率化		VII	IV	
	縮小		VIII		
	終期設定		IX		
	休止・廃止	X			

(2) 委員長による全体総括

- 商店街の誕生は大正時代頃であり、生活に必要なものがすべて揃う百貨店に対抗するために形成されている。現在は百貨店も赤字で地方都市から撤退しており、さらにアマゾンを代表とするネット販売の登場で、商店街の今後のあり方を本質的なところから考えるべきであり、そのことは医療、教育、文化などすべての行政に当てはまる。50年、100年にわたって持続可能な政策を立案するには、これまでの経緯や現状、問題点を把握し、今後どうあるべきか考えて取り組んでほしい。

- 産業を興す時には、人、物、金、情報の4つが必要と言われているが、物を作り出すのも、金を融通するのも、情報を発信するのも、すべて人であり、究極の施策の焦点は人づくりである。学校教育は強制的なものではなく、生徒が自らの発想で創造的で革新的なアイデアを考える環境を整え、産業政策は新しい時代のニーズに対応できるクリエイティブ、イノベータータイプな人材を踏まえて実施すべきであり、教育と産業政策はセットである。行政としても、産業担当と教育担当の双方が密接に絡んでいることを強く意識していく必要があるのではないか。総合政策として、刈谷で産業革命を興してほしい。